

チャレンジ！！オープンガバナンス 2019 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
アイデア名(注2) (公開)	1_1/2_6	室蘭に新たな観光客を呼び込むためのアイデア	室蘭市
	MEMoRAN(室蘭観光客のための動画共有システム)		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2019 サイトの中に記載してあるエントリー自治体(連合)が掲げる地域課題を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームが応募されるアイデアにつけるものです。アイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名(公開)	思い出共有くらぶ		
チーム属性(公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input checked="" type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
メンバー数(公開)	6名		
代表者情報	米田理子		
メンバー情報	氏名(公開)	藤谷 和樹 伊東 秀 石井 響 古川 孔晴 須藤 秀紹	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名をCOG2019_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院のCOG2019 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_padit_cog2019@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。3.

公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「3. 自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をやる社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2 ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題>

(1) 室蘭市の観光資源の有効活用と観光産業の促進

室蘭市は北海道にある港町でたくさんの観光資源があるが近隣の都市に比べ観光客数が少ない。そのため、室蘭市の潜在的な資源を活用し観光産業の発展を促進したい。

(2) 思い出の共有

室蘭市を訪れた観光客が簡単に思い出を家族や友達などとシェアできるシステムの提案をしたい。

<解決アイデアの内容>

概要

室蘭観光客のための動画共有システム『MEMoRAN』

目的

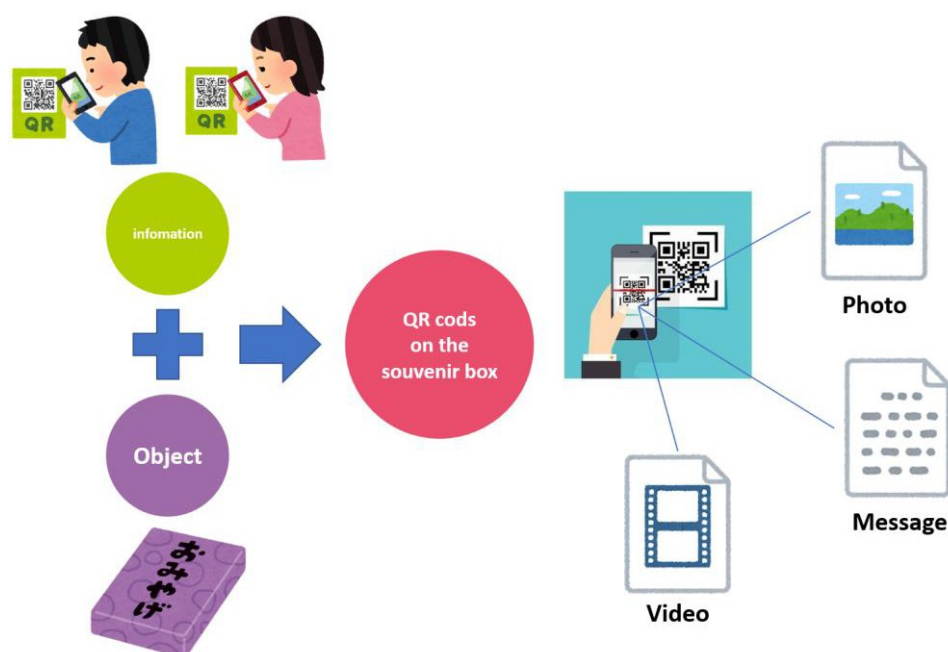
室蘭市を訪れた思い出を通して観光客が家族や友人などと簡単に思い出を共有することで、室蘭市の観光地や楽しみ方などの魅力について知ってもらうことができる。

MEMoRAN とは

～コンセプト～

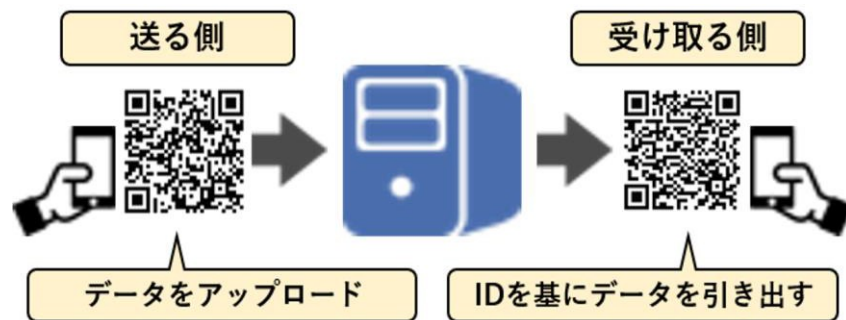
従来のお土産はモノだけを渡していたが、『MEMoRAN』は、情報（観光客が撮影した動画、写真やメッセージ）とモノ（お土産）の融合によって、旅行の時の楽しかった思い出を簡単に家族や友人などとシェアすることができる。

室蘭での思い出(Memory of Muroran)から『MEMoRAN』と名付けた。



～仕組み～

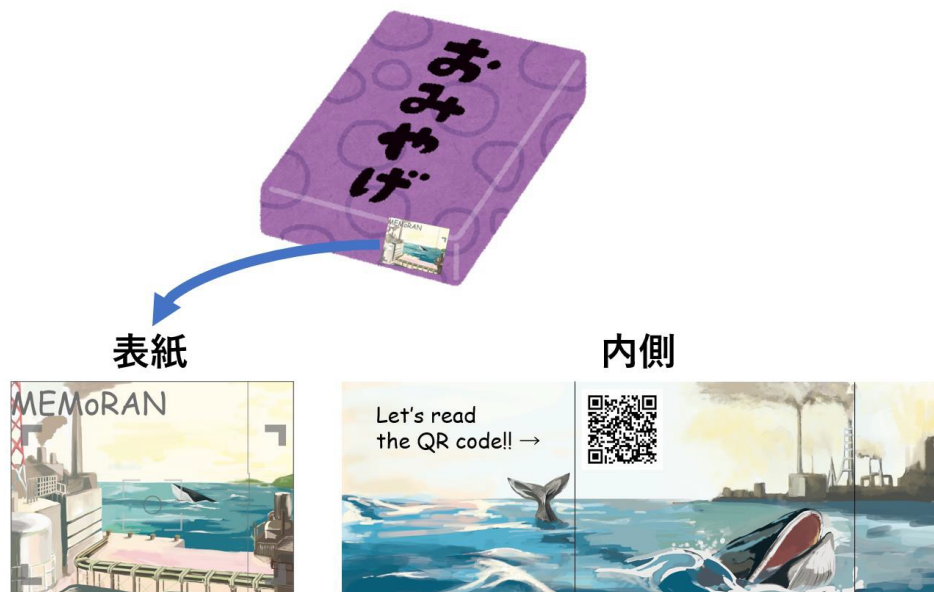
お土産につけるメッセージカードに貼られた QR コードを読み込み動画、写真、メッセージを共有する。



～メッセージカードのデザイン～

送る側と受け取る側の二層の QR コードを用いて、アップロードしたら表層の QR コードを剥がす。受け取る側の QR コードが残った状態で思い出共有したい人へメッセージカードの着いたお土産をあげる。

メッセージカードのビジュアルデザインは室蘭市の工場群と噴火湾の鯨をモチーフとしている。表紙は視点が工場側であり、内側は視点が海側である。



(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

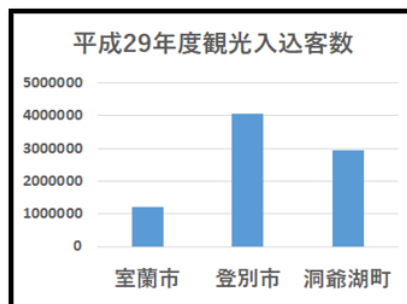
室蘭市について

北海道にある港町で札幌や函館へのアクセスが便利である。工場夜景や地球岬などたくさんの観光資源がある。



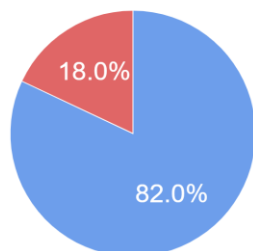
観光入込客数について

平成 29 年度に室蘭市に来た観光客数は 111 万人であるが、近隣の登別市では 400 万人、洞爺湖町では約 300 万人の観光客が訪れている。室蘭市は登別市や洞爺湖町の観光客数に比べて非常に少ないことが分かる。



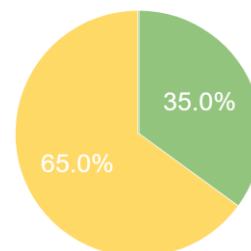
下の二つのグラフからも読み取れる通り、室蘭市に宿泊する割合は低い。観光客の目的としては他市の観光エリアでの行動が大きな割合を占めている。

室蘭市に宿泊する割合



● 宿泊しない ● 宿泊する

観光客の目的別割合



● 他市へ行く ● 市内周遊者

以上のデータから、長時間の移動にも関わらず、室蘭へ滞在せず他の都市へ観光してしまうことがわかる。短い滞在時間では札幌へ行っても駅付近しか観光できず旅行が徒費に終わってしまう。

何故、室蘭市の観光客が近隣の都市に比べて少なく滞在時間が短いのかを考えたときに、様々な要因が挙げられる中で私たちは室蘭市の認知度について着目した。そこで、MEMoRAN を使うことで思い出を共有し観光地などの魅力について知ることによって観光産業の発展を促進できると考えた。

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

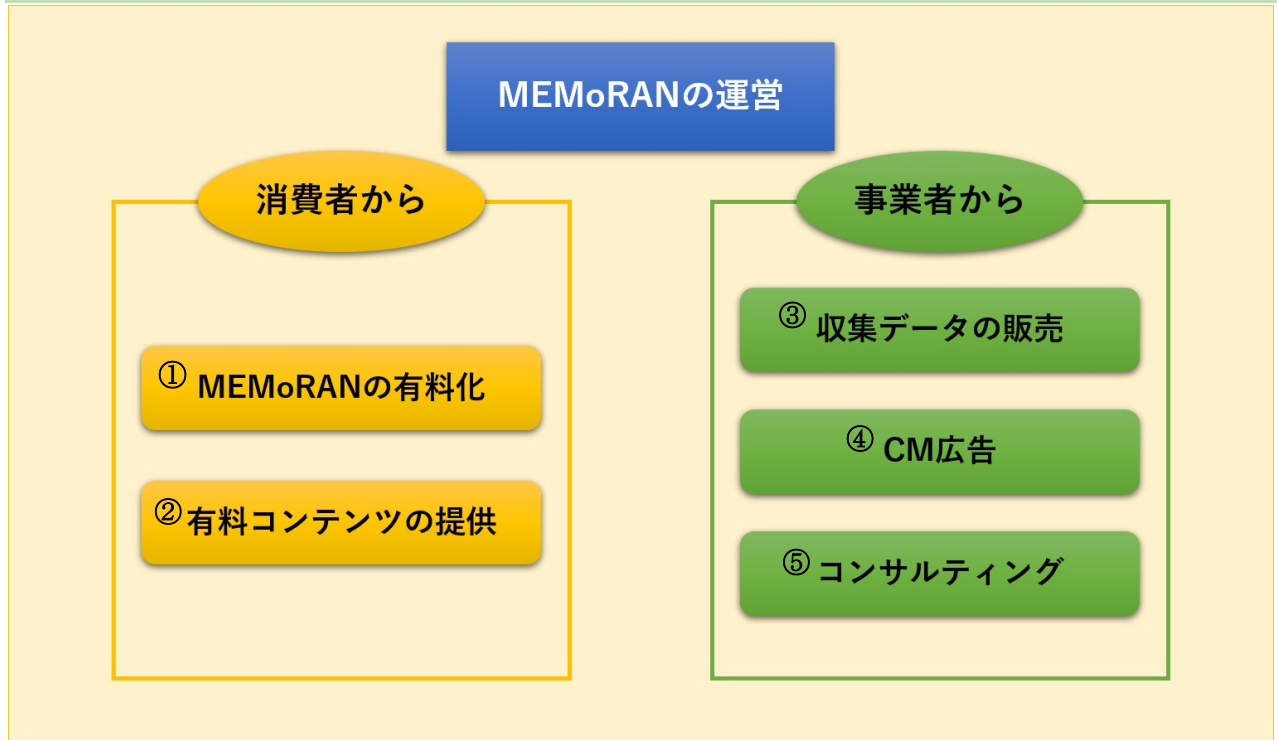
アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

MEMoRAN 実装にかかる費用

No	説明	単位	個数	値段	総合 (JPY)
1	人員				1,600,000
	1.1 管理人	1 月間	12	100,000	1,200,000
	1.2 ウェブサイトとデータベースデザイナー	1 月間	2	200,000	400,000
2	設備				375,000
	2.1 パソコン (PC)	台	1	120,000	120,000
	2.2 タブレット	台	3	50,000	150,000
	2.3 ラベルプリンタ	台	2	20,000	40,000
	2.4 紙ラベルロール	ロール	10	2,500	25,000
	2.5 マニュアル	冊	20	2,000	40,000
3	ソフトウェア				18,000
	3.1 データベースサーバ (レンタル)	月間	12	1,500	18,000
4	観測データ	フラット 価格	1	50,000	50,000
総費用					2,043,000

MEMoRAN 実装までのスケジュール

活動	1ヶ月目				2ヶ月目				3ヶ月目				4-12ヶ月目
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	第13-48週
室蘭のギフトショップに関する情報の調査	■												
動画共有システムのためのウェブサイトの構造設計	■	■											
ビデオを共有するためにウェブサイトに接続できるQRコードサブシステムの作成			■	■	■								
ウェブサイトにリンクするデータベースサーバの設置					■	■	■						
動画用の室蘭テーマのデザイン						■	■						
QRコードとウェブサイトのテストパイロット							■	■					
参加者を求める（プロジェクトに参加したいギフトショップ・ブランドを探す）									■				
すべてのサブシステムをショップにの設置										■			
管理者向けのマニュアルの提供											■	■	
システムの更新と維持													■



以下に具体例を示す。

<消費者から>

- ①MEMoRAN の有料化・・・実装実験の段階では無料で提供するが、製品版ではメッセージカードなどの有料化を想定している。
- ②有料コンテンツの提供・・・写真につけるスタンプやフィルタの有料版を提供する。

<事業者から>

- ③収集データの販売・・・観光客のお土産購入データと、訪れた観光地の位置情報から、お土産と観光地の関連性を見出せるため、それらのデータを市役所などに販売する。
- ④CM 広告・・・送る側のアップロードが終わったタイミングで室蘭観光に関わる広告を付与する。
- ⑤コンサルティング・・・MEMoRAN をパッケージ化し、他の自治体などへ導入を提案する。

